

ハッピーはっぷす

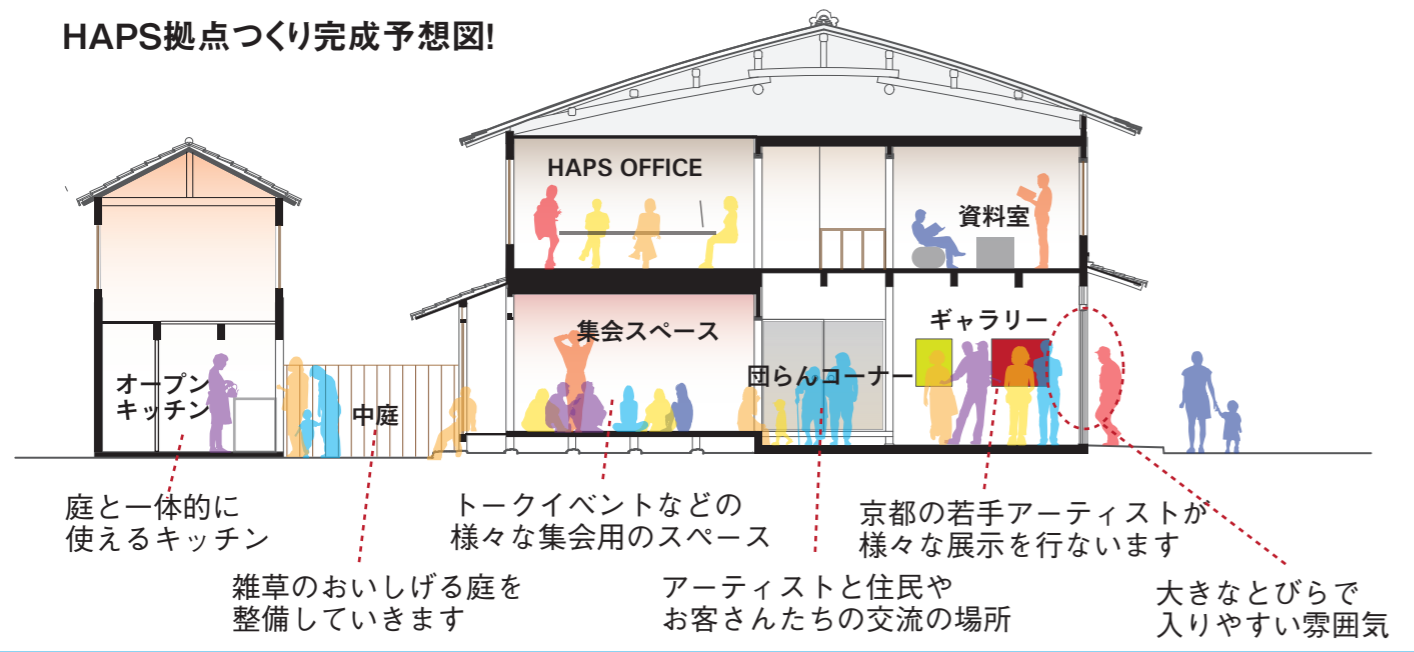
— H A P S —

六原で新しく始まる「ハップス」の活動を紹介します。

2012/7/12 7月号

いよいよ改修工事へ! つくりながら考える、六原とHAPSのまちづくり

HAPS拠点づくり完成予想図!



六原の空き家をハップスの事務所と、地域の方が利用できるスペースにする改修計画が、今夏にいよいよ本格化します。計画を担当する建築家集団「RAD(ラッド)」は、設計や改修だけではなく、「人のつながり」もデザインしていきます。具体的には、改修作業にアーティストや住民の方々に協力をしていただき、これまで六原に住み続けてきた方々と、これからの六原に関わる人が出会う場面をたくさんつくっていきます。

*改修プロジェクトの参加者募集! 参加希望の方は 070-6683-7608 (HAPS あしだて) まで!



RAD(ラッド)とは?
「RAD」とは、Research for Architectural Domain(建築の居場所を探る)の略で、川勝真一、榊原充大、会田良、木村慎弥の4人の若手建築家で運営しています。建物を設計するだけでなく、ギャラリーの運営やトークショーなどを行い、建築的なアイデアが「建てること」を超えてどこあるべきかを問いかけています。
<http://radlab.info/>

「ハッピーはっぷす 7月号」発行日: 2012年7月12日(木)
発行: HAPS(東山 アーティスト・プレースメント・サービス)
住所: 京都市東山区大黒町通松原下三丁目大黒町 307-206 TEL: 070-6683-7608
編集制作: 京都造形芸術大学 芸術表現・アートプロデュース学科准教授、山下里加/同学科アートプロデュース論| 受講生 Aチーム
【馬場 夏海(デザイン)、荒川 莉佳子、多田 英莉子、山口 玄汰稜、笠井 祐芹、橋口 えみ、上地 拓弥、千葉 雄也、近藤 由佳、樋口 詠理、岸本 亜美】

学生スタッフが行く! **アートと暮らすまち探訪 その2 神戸C.A.P.編**

アーティストが集まり船出するアートの港

C.A.P.=(The Conference on Art and Art Projects)は「芸術と計画会議」という意味で営利を目的としない文化活動を推進する組織として1994年に設立、2004年NPO法人となりました。神戸市の旧国立移民収容所を改装した建物の3階4階をC.A.P. STUDIO Y31階カフェをC.A.P. CAFE & SHOP y3として活用しています。

- ◎C.A.P. STUDIO Y3では、複数のアーティストがアトリエで公開制作を行っており、いつでも来客者が自由に入出入りして制作の様子を見たり、アーティストと交流することができます。他にもギャラリーやワークショップ室物販を兼ねたカフェなどがあります。
- ◎C.A.P. STUDIO Y3内のアトリエは、大学卒業後間もない若者から84歳のおじいさんまで常に20名ほどが利用。個々の制作に打ち込みながらも、共同イベントへの参加やメンバー同士や来客者との出会いを通して人脈や機会を広げC.A.P.外の活動にも活かしています。



- ◎「土曜クラブ」というワークショップ(参加型)イベントや、陶芸教室などを定期的に開講。地域の方々にも大変人気で、常連さんや、ロコミで来る人など参加者が増えています。
- ◎C.A.P.には利用時間の制限や、建物を使う時は原状復帰させるというルールがあり、アーティストはそれらを守って活動しています。一方で広い木工室などの設備があり、アーティストたちの制作活動を豊かなものにしていきます。



<スタッフからひとこと>
C.A.P.にはサポートメンバーシップというシステムがあり、現在は54人の個人会員と15社の法人会員が活動を支援しています。アート活動は地域住民をはじめ、活動を理解し協力してくれる方々の支えがあってこそ成り立つことを学びました。

今回の取材チームは荒川、近藤、多田、山口、馬場でした!
次号は改修の様子をお知らせします!